

C-HR モデリスタバージョン

リヤスカーտ 取付要領書

設定型式:DBA-NGX#0、DAA-ZYX1# 設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスカーտの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施して下さい。
- リヤスカーտを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、
(PACプライマーK500を本品に添付)必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両はボディーコートを剥離して下さい。
(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行って下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を十分に行って下さい。500kPa (5kgf/cm²) 以上
- 重要** ■走行直後などはマフラーが高温の為、火傷のおそれがあり危険です。
マフラーエクステンション装着の際は、マフラーが完全に冷えてから作業を行って下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスカーտが、車両に確実に貼り付けされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスカーտ及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とリヤスカーտとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

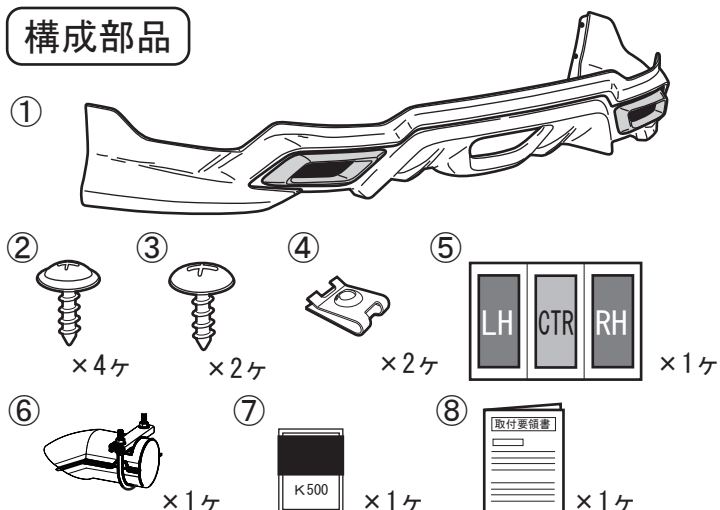


アドバイス...この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。



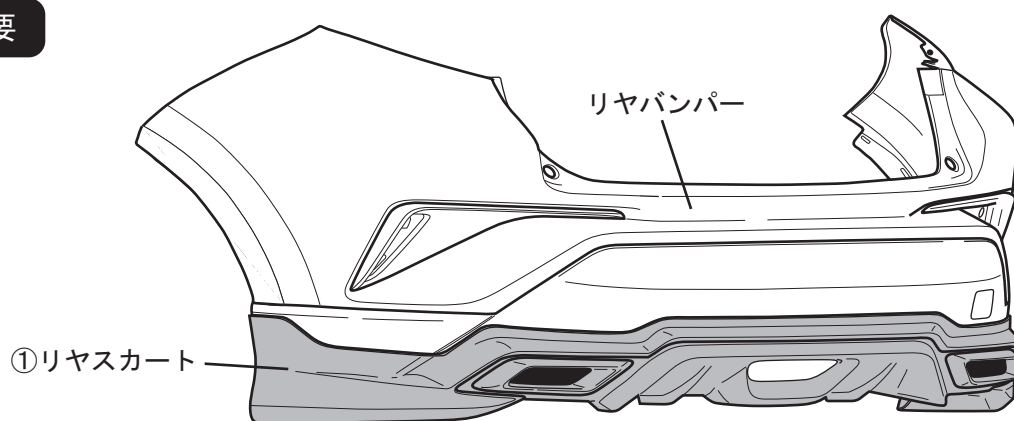
MODELLISTA

構成部品



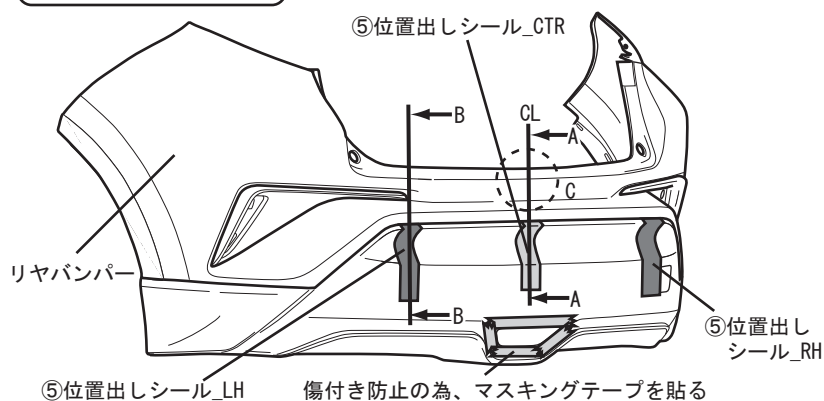
No.	品 名	個数
①	リヤスカート	1
②	タッピングスクリュー (M4×12)	4
③	タッピングスクリュー (M5×16)	2
④	スピードナット (M5)	2
⑤	位置出しシール_LH/CTR/RH	1
⑥	マフラーエクステンション	1
⑦	PACプライマー K500	1
⑧	取付要領書	1

取付概要



取 付 手 順

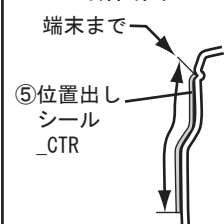
I. 取付位置出し



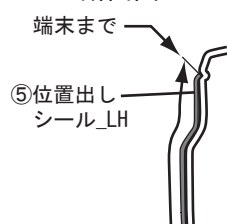
1. ロックストライカーのセンターを基準にして、リヤバンパーのセンター位置を出し、センター位置に⑤位置出しシール_LH/CTR/RHを貼り付ける。(図1参照)

2. 傷付き防止の為、車両中央部のリヤフォグランプ部分周辺をマスキングテープ等を使用して保護する。

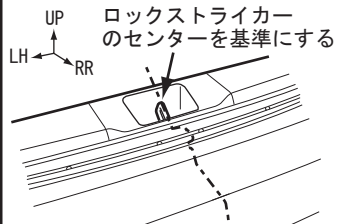
・A-A 断面図



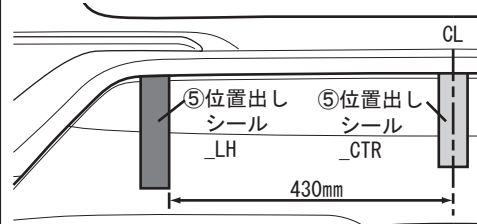
・B-B 断面図



・C部 拡大図



・リヤ正面図

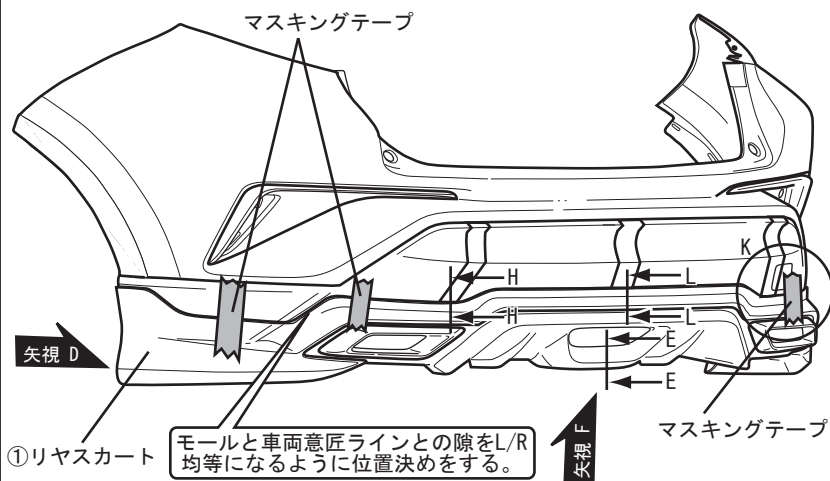


<図1>

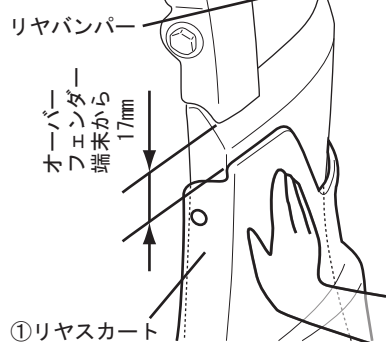
※R側も同様

※R側も同様

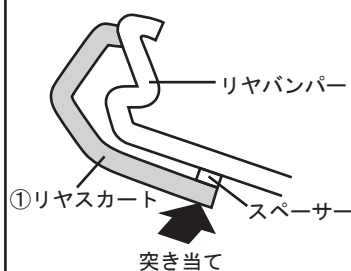
Ⅱ. リヤスカートの仮当て



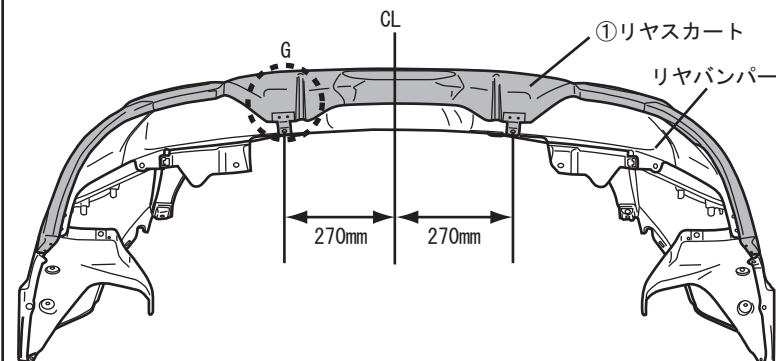
・矢視 D



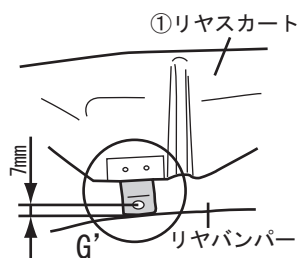
・E-E 断面図



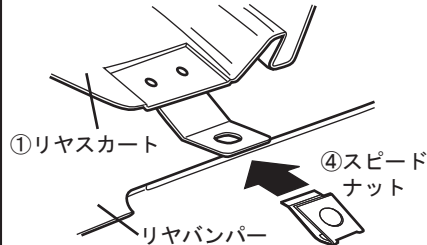
・矢視 F (ブラケット穴位置寸法)



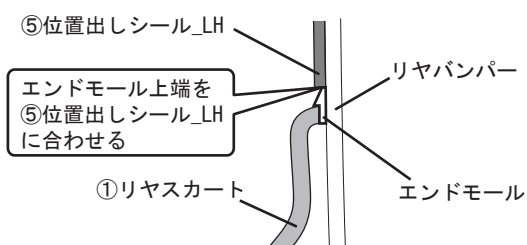
・G部 拡大図



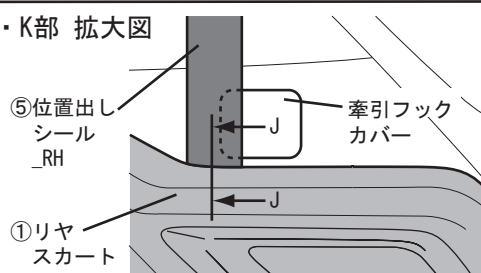
・G'部 拡大図



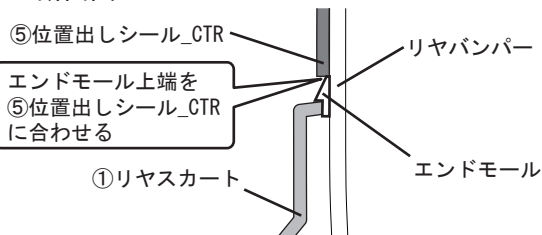
・H-H 断面図 (J-J 断面も同様)



・K部 拡大図



・L-L 断面図



<図 2>

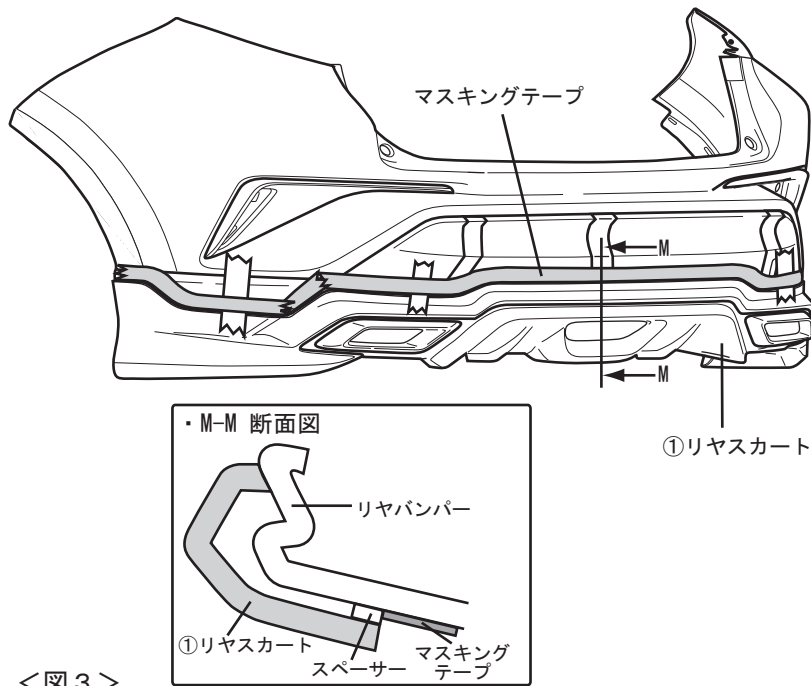
- ①リヤスカートのエンドモール上端を⑤位置出しシール_LH/CTR/RHに合わせ、左図要領でリヤバンパーに仮当てする。
(図 2 参照)

その際、脱落防止のため、マスキングテープ等で仮固定する。

- ①リヤスカート側面上部をリヤバンパーに押し当て、タイヤハウス部の穴位置をリヤバンパー側にマーキングする。
(図 2 矢視D 参照)

- ④スピードナットをブラケット位置に合わせてリヤバンパー下面にはめる。
(図 2 G'部 拡大図 参照)

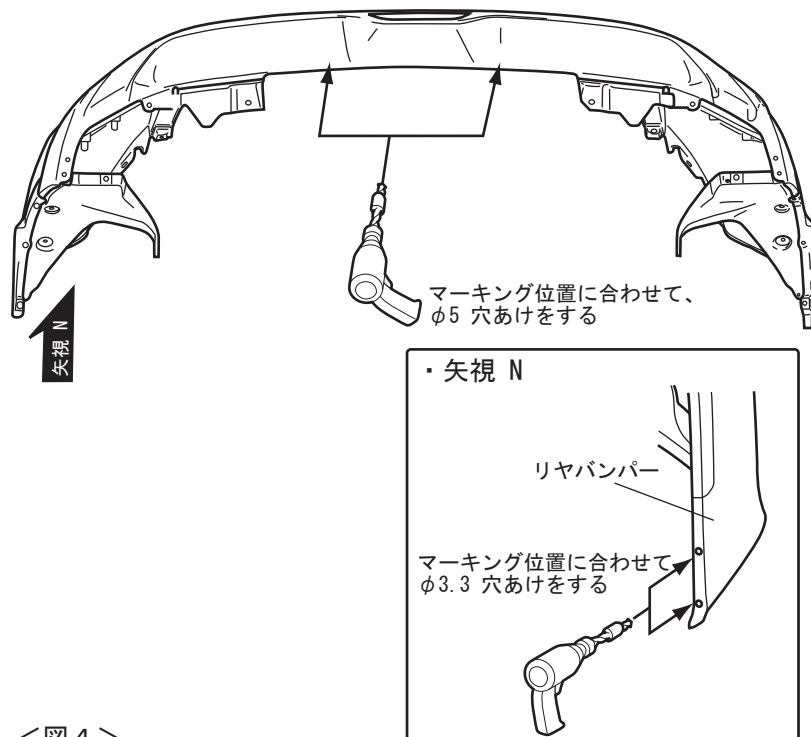
- ①リヤスカートの金属ブラケットを④スピードナットに突き当てて、位置をリヤバンパー側にマーキングする。



5. マスキングテープを①リヤスカートのエンドモール上端と下面スパーサー部周辺に合わせて貼り付ける。(図3参照)

6. ①リヤスカートと④スピードナットを取り外す。

<図3>



7. リヤバンパー下面及び、タイヤハウス部のマーキング位置に穴開けをする。(図4参照)

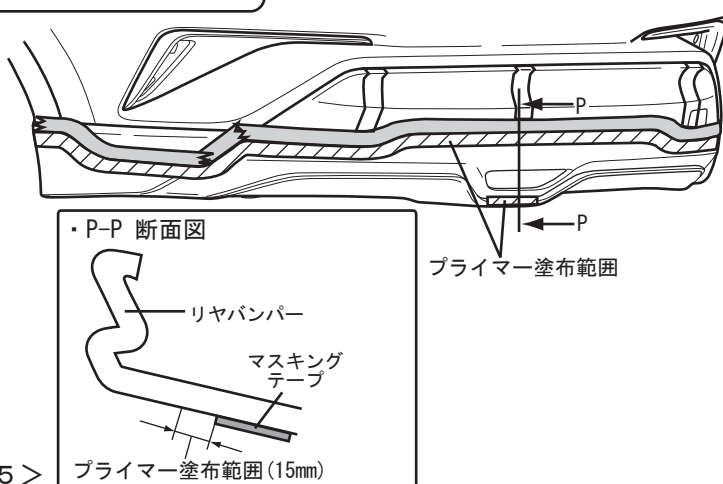


アドバイス

- ・ 下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針又は、画鋸を用いて行なって下さい。

<図4>

Ⅲ. プライマーの塗布



1. 両面テープ貼り付け部(図5斜線部)を脱脂し⑦K500 PACプライマーを塗布する。



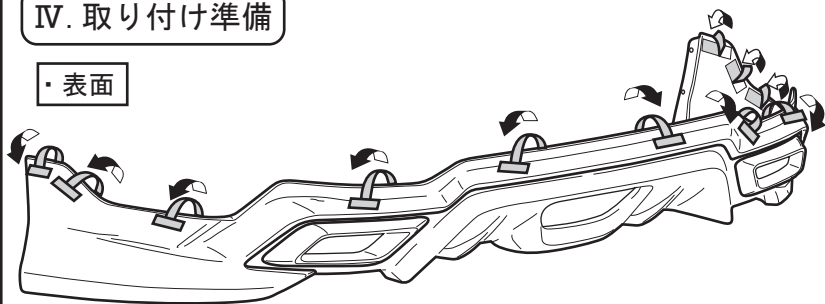
アドバイス

- ・ PACプライマーK500は特に塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマーK500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分のボディーコートを除去して下さい。

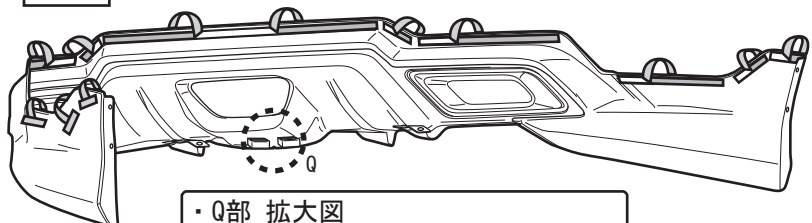
<図5>

IV. 取り付け準備

・表面



・裏面



・Q部 拡大図

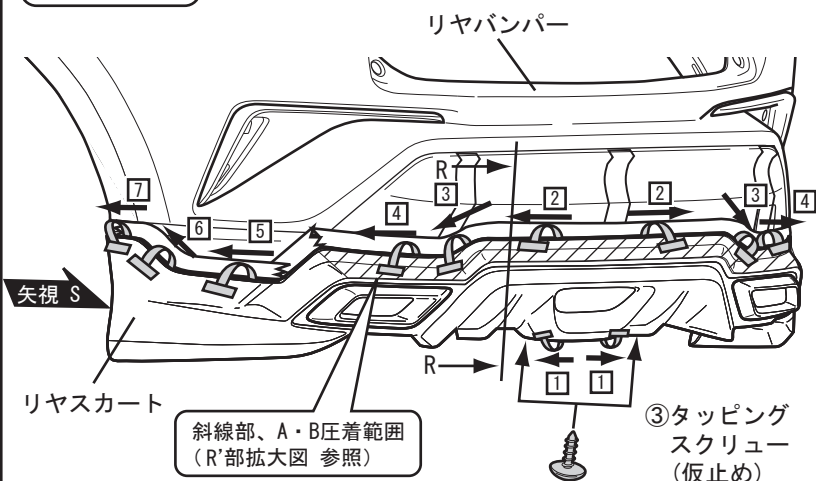


離型紙を少し剥がす

<図 6>

- ①リヤスカートの両面テープ離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(図6参照)

V. 取り付け



- ①リヤスカートを、仮当て時と同様の手順で車両に仮当てする。



アドバイス

- ・モールの巻き込みに注意して取り付けを行ってください。

- ④スピードナットを取り付ける。
- ②タッピングスクリュー (M4×12) で仮締めをする。
(図7 矢視S 参照)
- ③タッピングスクリュー (M5×16) で仮締めをする。
(図7 参照)
- 両面テープ離型紙を①～⑦の順に引き抜きながら圧着する。(図7参照)

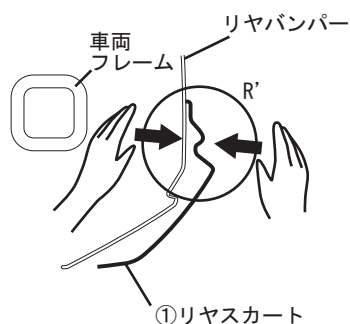


アドバイス

- ・離型紙が途中で切れない様に、スポイラーを少し浮かせながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、500kPa (5kgf/cm²) 程度の力で行ってください。
- ・必ず<リヤスカート 取付要領書 追補版>の指示通りに作業を行ってください。指示通り作業を行わないと、リヤスカートが車両に確実に取り付けられない場合があります。

- 全てのマスキングテープと⑤位置出しシールを剥がす。

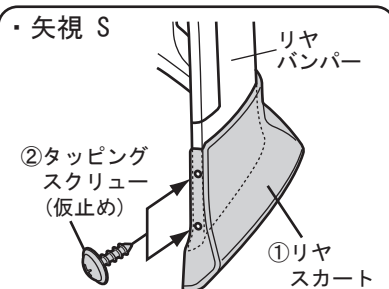
・R-R 断面図



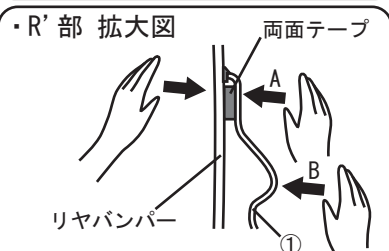
圧着する際、バンパー下部から裏面に手を入れ、挟み込むように圧着する。

※車両中央部を圧着する際、車両フレームではなく、バンパーを押してください。

・矢視 S



・R' 部 拡大図

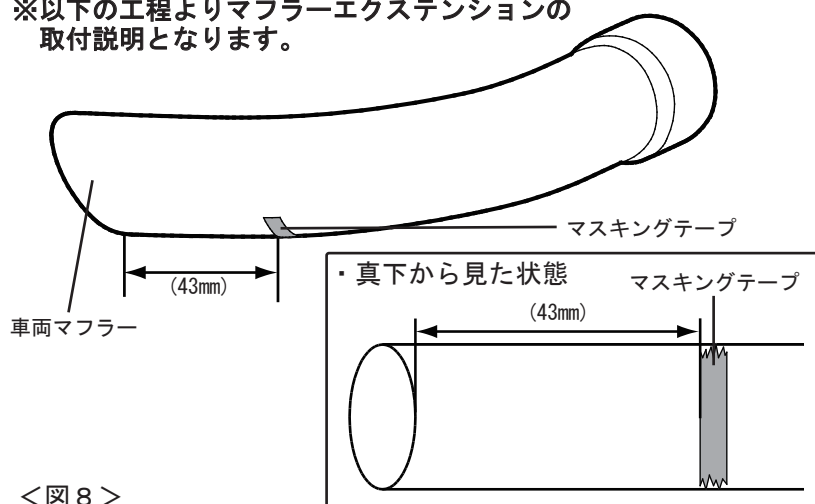


A部圧着後、B部も押して圧着する。
※R-R 断面図のように、両手で挟み込んで圧着してください。

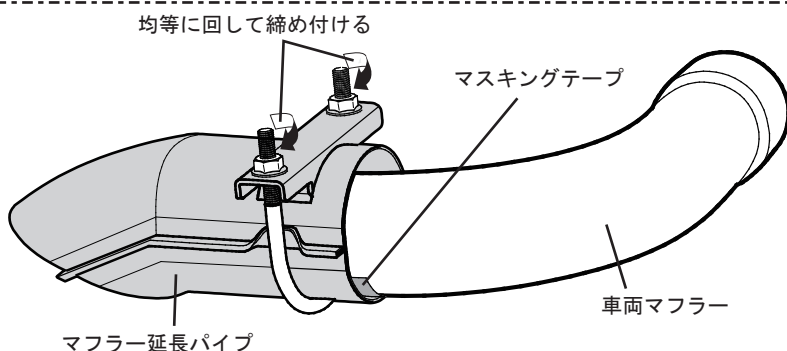
<図 7>

VI. マフラーエクステンションの取り付け

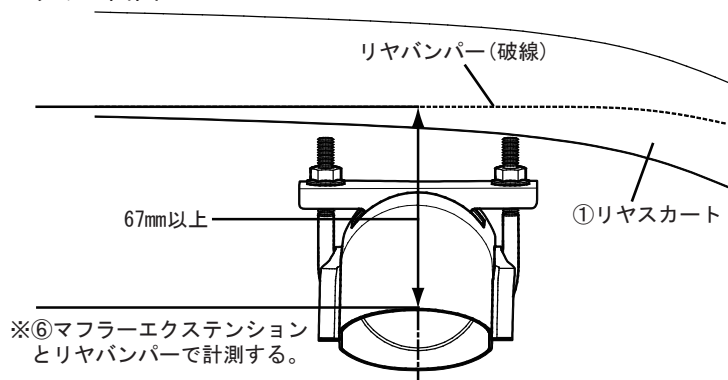
※以下の工程よりマフラーエクステンションの取付説明となります。



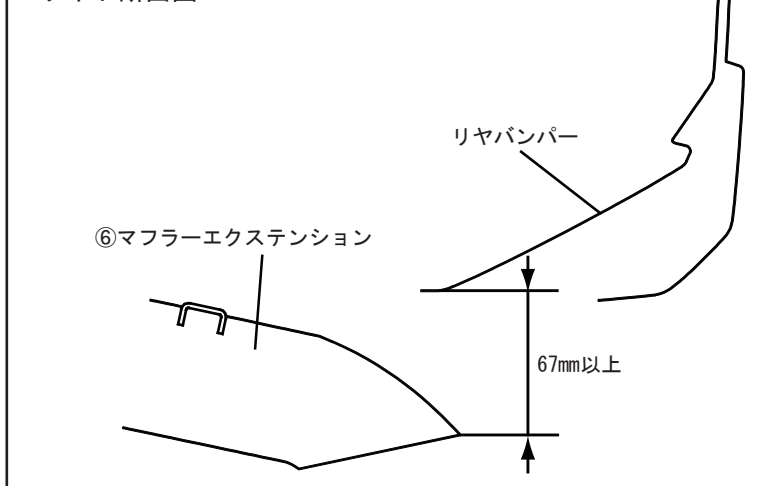
<図 8>



・リヤ正面図



・サイド断面図



<図 9>

1. 車両マフラーの出口後端下側から、左図の位置にマスキングテープでマーキングする。
(図 8 参照)



アドバイス

- ・車両マフラーが確実に冷めている事を確認してから作業を行ってください。

2. ⑥マフラーエクステンションをマーキングの位置に合わせて差し込む。(図 9 参照)

3. リヤバンパー及び①リヤスカートに干渉していないことを確認後、⑥マフラーエクステンションのロックナットを均等に回して締め付け仮止める。

4. リヤバンパーとのクリアランス及び上下左右のバランスを確認しながら、仮止め部を本締めする。
※締め付けはトルクレンチで確実に行ってください。【締め付けトルク：6.0N・m】

5. マスキングテープを剥がす。



アドバイス

- ・マフラーエクステンションの本締めをする際は、純正マフラーをサポートゴムから一旦取外すと、作業がしやすくなります。

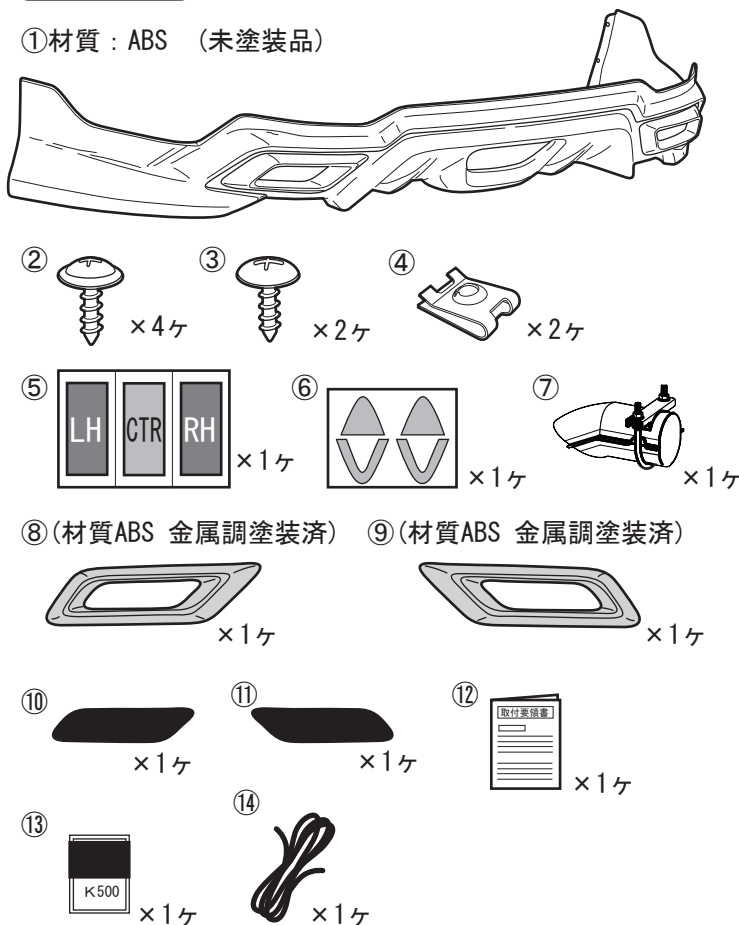
6. ①リヤスカートの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置し再圧着する。

7. 仮締めしていたタッピングスクリューを全て本締めをして、取り付け作業終了です。

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品

①材質：ABS（未塗装品）

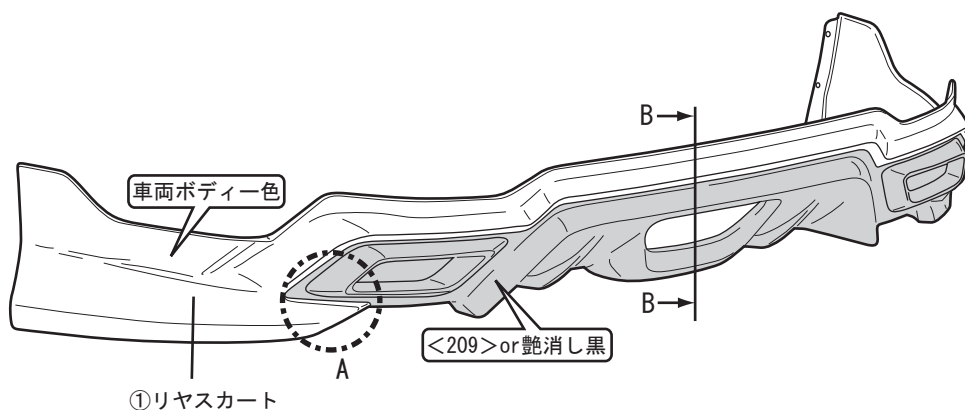


No.	品 名	個数
①	リヤスカート	1
②	タッピングスクリュー (M4×12)	4
③	タッピングスクリュー (M5×16)	2
④	スピードナット (M5)	2
⑤	位置出しシール_LH/CTR/RH	1
⑥	マスキング用型紙シールLH/RH	1
⑦	マフラーエクステンション	1
⑧	マフラーガーニッシュ_LH	1
⑨	マフラーガーニッシュ_RH	1
⑩	ブラックアウトテープ_LH	1
⑪	ブラックアウトテープ_RH	1
⑫	取付要領書	1
⑬	PACプライマー K500	1
⑭	エンドモール(黒)	1

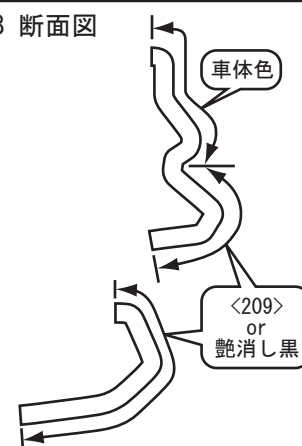
塗り分け推奨色	ボディー色 色番号	ボディー色 名称	塗り分け部 推奨色
	070	ホワイトパールクリスタルシャイン	<209>
	1K0	メタルストリームメタリック	<209>
	209	ブラックマイカ	艶消し黒
	5A3	イエロー	<209>
	6W9	ラディアントグリーンメタリック	<209>
	3T3	レッドマイカ	<209>
	8T7	ブルーメタリック	<209>
	4U3	ダークブラウンマイカメタリック	<209>
	089	プラチナホワイトパールマイカ	<209>
	224	イナズマスパークングブラックガラスフレーク	<209>

I. 塗装作業

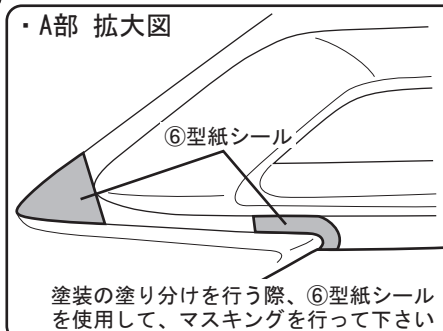
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
2. 製品に貼り付けてある両面テープを全面マスキングする。
3. プライマー塗装を行う。
4. 上塗り塗装を行う。
注記：上塗り塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 硬化
注記：硬化温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で硬化させて下さい。



・ B-B 断面図



・ A部 拡大図



<図1>

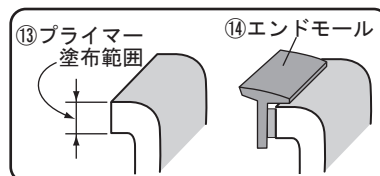
Ⅱ. プライマーの塗布とエンドモールの貼付

1. 塗装終了後、⑧⑨マフラーガーニッシュの両面テープ貼り付け部、及び①リヤスカート本体の⑩⑪ブラックアウトテープ、⑭エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑬PACプライマーK500を塗布する。(図2参照)

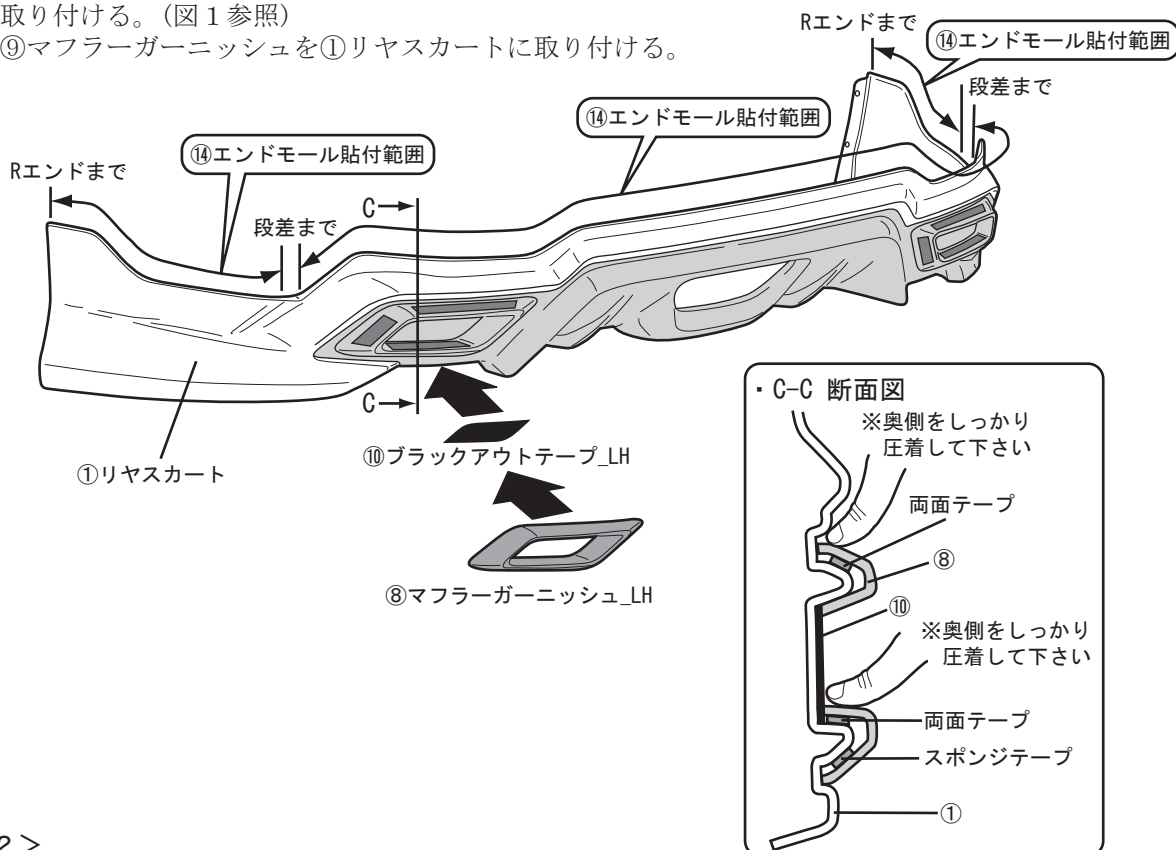


アドバイス

- ・プライマーは車両への取り付け時に再度使用します。
- ・揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・プライマー塗布部以外は必要に応じてマスキングをして下さい。



2. ⑩⑪ブラックアウトテープ及び、⑭エンドモールを①リヤスカートに取り付ける。(図1参照)
3. ⑧⑨マフラーガーニッシュを①リヤスカートに取り付ける。



<図2>

※. 補修キット両面テープ貼り位置

1. 補修キットを使用して、①リヤスカートの再取付を行う際は、下図を参照に両面テープを選択し、貼り付けてください。

